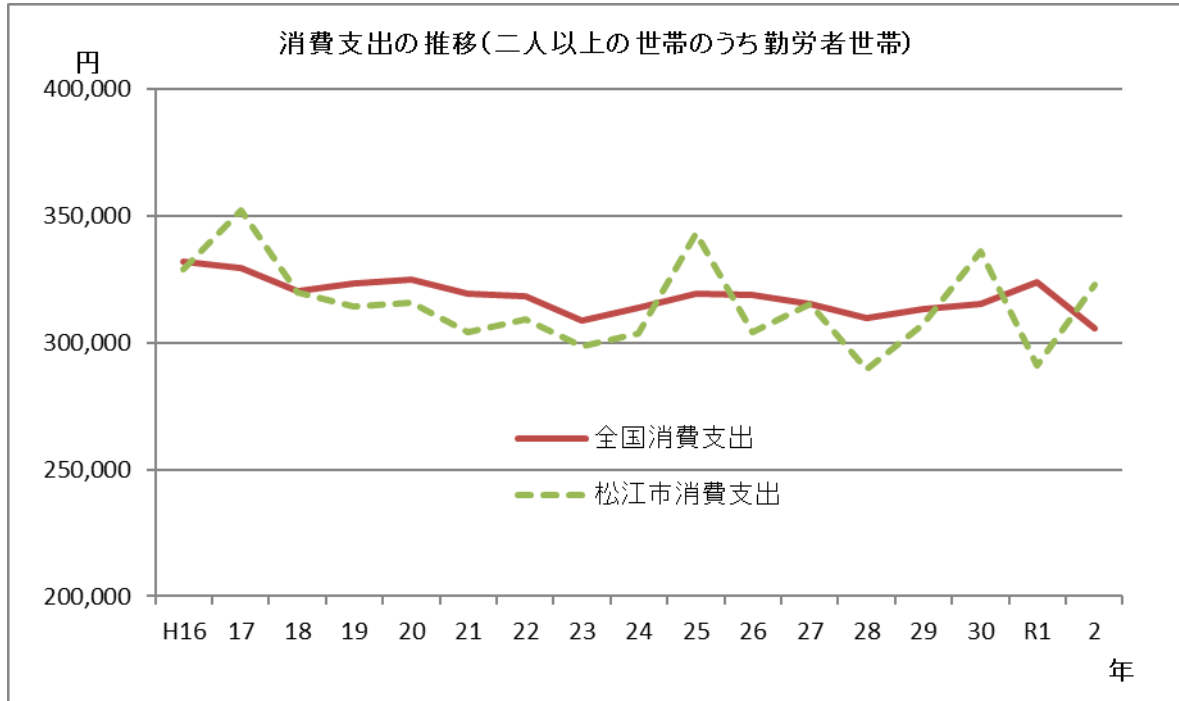


家計消費の推移

1. 消費支出の推移

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たりの年平均1か月間の消費支出の推移（図1）をみると、松江市では、平成17年には352,189円とピークとなり、その後、増加した年はあるものの減少傾向にあり、平成28年には289,418円まで減少した。令和2年は322,972円だった。

（図1）



消費支出額を費目別に10年前と比較（表1）すると、「保健医療」が62.1%、次いで「家具・家事用品」が38.4%増加するなど、全体では4.4%増加した。一方、「被服及び履物」は20.3%、「住居」は19.5%減少した。

（表1）

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり
年平均1か月間の消費支出（松江市）

十大費目	H22	R2	比較(%)
消費支出(円)	309,278	322,972	4.4
食料	67,856	74,373	9.6
住居	28,802	23,200	-19.5
光熱・水道	23,410	24,263	3.6
家具・家事用品	10,982	15,194	38.4
被服及び履物	13,177	10,501	-20.3
保健医療	9,272	15,027	62.1
交通・通信	52,489	57,621	9.8
教育	12,222	12,977	6.2
教養娯楽	26,165	25,064	-4.2
その他の消費支出	64,903	64,754	-0.2